

しごと部会

2023年11月6日（豊岡市障害者自立支援協議会 全体会議）

部会長	西村	弘文（特定非営利活動法人サポート歓）
副部会長	上田	壮広（社会福祉法人とよおか福祉会）
部会員	上崎	良純（非営利活動法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク）
	衣川	勝海（NPO法人ぷろじえくとPlus）
	琴川	なごみ（合同会社はるちゃん）
	佐藤	杏南（豊岡市社会福祉協議会）
	中嶋	亮（豊岡市社会福祉課）
	南	克伸（出石特別支援学校）

現状と課題

- 職員が作業に追われ、就労に必要な支援が不十分になっている
 - 就労支援に関わる人財に余裕がない。支援スキルや障害特性の理解が不足している。また、就労先での支援体制、環境整備が不十分なことがある。
- 当事者（ご本人）の自己理解が不十分である
 - 事業所ごとに評価が異なり、標準化されたアセスメントが行われず、当事者にフィードバック出来ていない。就労先とご本人の思いの乖離から、退職する原因になることもある。
- 公共交通機関が不便である
 - 通勤手段として公共交通機関の利用を選択しにくい。バス電車等の便数の減少、利用方法が分からない場合がある。

現状と課題

- 障害福祉サービス事業所が企業からの仕事を受託したいが、どのような委託先や仕事があるのか分からない
 - 企業からの仕事を開拓する人財に余裕がない。企業から仕事を受託するための繋がりが少ない。企業との作業のマッチングが難しく、工賃が安定しない。
- 高齢化が進み、空家管理、庭の草刈り、雪かき、墓掃除などのニーズが多いと思われる。
 - 当事者（ご本人）が地域で活躍できる場になると思われる

目的

目標達成に向けて今年度取り組む内容

障害福祉サービスや一般企業、地域のそれぞれのニーズを集約し、コーディネートするような社会資源の仕組みづくりの検討

〈イメージ〉

- ・ 仕事をしてほしい企業、個人からのニーズの把握（登録）
- ・ 仕事をしたい方（出来る方）と仕事をマッチング（コーディネート）

※企業からの就労、作業（軽作業、内職作業）、地域からの依頼（除雪、除草、農作業、掃除、買い物等）を想定

今後の取組

具体的な潜在ニーズの把握（委託側、受託側）

- ・どのような仕事が依頼できるか。どれぐらいの仕事の量があるか。
- ・どれぐらいの期間、単価で委託できるか。搬入、搬出、検品などのやり方や可能な方法etc...。

就労に向けた企業側の障がいの理解（配慮等）や就労する者の就労準備性（自己理解等）

- ・就労してもらうための具体的な取り組みの例示。就労する者の自己覚知、アドバイス等、実際に働いている方との就労体験談を通じた交流。

実際に取り組まれているところへの視察、勉強会

年間予定

- 第一回しごと部会 令和 5年 7月21日（金）開催
- 第二回しごと部会 令和 5年 9月29日（金）開催
- 第三回しごと部会 令和 5年10月16日（月）開催
- 今後のしごと部会 月に一回程度の開催を予定